

## 沖島のゴミ回収活動（報告）

平成 28 年 4 月 24 日（日）、認定 NPO 法人「びわ湖トラスト」および NPO 法人「明るい社会づくり運動滋賀県協議会」、立正佼成会の共催で、本年度で第 4 回目になる「沖島漂着ゴミ回収活動」が行われました。

各団体からの呼びかけに応じて総勢 100 名を超えるボランティアが早朝から集まり、数隻の船に分乗して沖島に渡りました。昨年までは島の裏側（北西側）の湖岸に漂着したゴミの回収を行いましたが、今年は数班に分かれて、島のあちこちの湖岸を歩き回り回収作業を行いました。



ご覧のように下は小学生から、上はお年寄りまで、文字通り老若男女入り乱れての活動でしたが、ただ一つの目的、「びわ湖を守ろう！」の意識のもと、熱心にゴミ回収をしていただきました。

今年の参加者の中には約 40 名の滋賀・京都からの学生さんがいて、ゴミの運搬、分別などに大活躍してくれました。学生さんの約半数は中国から滋賀県への留学生で、日本に来てから、テレビや街角で見かける日本のボランティア活動を、実際に自分で体験してみたいと大勢参加してくれました。

昨年までの島の裏側と違って、表側には、住民の皆さんが育てたきれいな花が咲いていたり、可愛い猫ちゃんが我々を出迎えてくれたり、すれ違った島の方々とも挨拶を交わし、改めて沖島に親近感を持つことが出来ました。

久しぶりに体を動かした後の昼食は特別美味しかったです。心を込めて作っていただいたお握りと沖島の特産物をご馳走になりました。沖島の代表、主催団体からの挨拶とお礼の言葉に引き続き、学業の傍ら参加いただいた3つのグループの学生さんの紹介がありました。



以下は、今回大勢ご参加いただいた学生さんたちの感想をまとめたものです。とくに、中国からの留学生さんが、このような活動を通じて、日本への理解を深めてくれたことには、一日本人としてうれしく思いました。皆さんの感想は口頭でヒアリングしたものと、文章として書いていただいたものがありますが、留学生の感想文の場合、日本語の文法、表現の誤りについては修正しました。

### 参加してくれた学生さんの感想（順不同）

- ・一人だけではたいしたことはできないが、これだけたくさん集まると、すごいパワーになる。島をきれいにすることができてよかった。
- ・日本に来て半年、日本人のボランティア精神に感心していました。今回、自分自身で参加して、すばらしい体験ができました。
- ・沖島では、きれいな花や、かわいい猫ちゃんと出会ったりして、清掃活動が苦痛ではなく、楽しいものになりました。昼食にいただいたおにぎりとお魚はとても美味しかったです。
- ・船から見たびわ湖にはごみなど浮かんでいないのに、岸边には結構ごみが漂着していたのには驚いた。
- ・ごみがあるということは、捨てる人がいるということだ。みんなが今回のようなボランティア活動に参加すればごみを捨てる人もいなくなるはずだ。
- ・機会があれば、また、このような活動に参加したい。大勢で同じ目的に向かって奉仕するのはすばらしいことだと思う。
- ・中国で過ごした20年間、ボランティア活動には参加したことがなかったし、そのような働きかけもほとんどなかった。日本でボランティア活動を知り、実際にそれを体験できたことは、日本留学の目的だった日本語の上達以上に学ぶものがあった。

以上  
(文責：田中理事)